

第1回
一般廃棄物処理施設建設適地検討委員会会議録



平成20年9月26日 10:30~12:10
伊万里市役所3階 第3号会議室

佐賀県西部広域環境組合

第1回一般廃棄物処理施設建設適地検討委員会					
日 時	平成20年9月26日(金) 10:30~12:10				
場 所	伊万里市役所3階 第3号会議室				
委 員	区 分		氏 名	出 欠	
	学識経験者	樋口 壮太郎		出	
		伊藤 洋		出	
	伊万里市民代表	井手 武昭		出	
		大川内 正弘		出	
		川内 嘉津子		出	
	自然環境に関する有識者		鶴田 靖雄	欠	
	行政代表	伊万里市副市長		前田 和人	出
		武雄市副市長		古賀 滋	出
		江北町副町長		横町 晃義	出
太良町副町長		永淵 孝幸	出		

オブザーバー	施設整備実務経験者	福田 康成	出
--------	-----------	-------	---

事 務 局	事 務 局 長	井関 勝志
	事 業 2 係 長	宮崎 八州雄
	事 業 2 係 主 査	土井 一
発注者(事務局) 支援事業者	(財)日本環境衛生センター 西日本支局	岩永 宏平
		古保里 俊夫
適地調査受注業者	日本技術開発株式会社	山口 隆三
		高橋 富男
		杉野 泰司

一般廃棄物処理施設建設適地検討委員委嘱状交付式

平成20年9月26日(金)
午前10時30分開式

1. 開 式

事務局長より開式

2. 委嘱状交付

管理者より委員を代表し樋口壯太郎氏へ委嘱状交付

3. 管理者挨拶

塚部管理者の挨拶

4. 閉 式



第1回一般廃棄物処理施設建設適地検討委員会

1. 開 会

2. 委員の紹介

3. 協 議

(1) 委員長・副委員長の選任

(2) 委員会設置要綱について

- ① 委員の任務・任期等について
- ② 情報公開・個人情報の取扱いについて

(3) 適地検討について

- ① 全体事業計画について
- ② 適地選定スケジュールについて

(4) その他連絡事項

4. 閉 会

午前10時45分開会

1. 開 会

- 宮崎事業2係長より開会

2. 委員の紹介

- 井関事務局長より委員及びオブザーバー、事務局、コンサルの紹介

3. 協議

(1) 委員長・副委員長の選出

委員から立候補及び推薦する発言がなく、事務局案として委員長に樋口壮太郎氏を、また副委員長に伊藤洋氏を推薦することを提案。

● **満場一致で賛成いただき、被推薦者の両名も了承。**
委員長「樋口 壮太郎氏」、副委員長「伊藤 洋氏」に決定

◎委員長の就任挨拶

(この後の議事進行については委員長)

(2) 委員会設置要綱について

- ① 委員の任務・任期等について
- ② 情報公開・個人情報の取扱いについて

(事務局) 適地検討委員会設置要綱により、委員の任務と任期等を説明。

特に、任期は委嘱状記載の任期にとらわれることなく、要綱第2条の任務が終了するまでの間となることを了承いただきたい。

次に、協議内容等の公開については、適地選定過程においては、土地に関する利害関係が発生し外部からの強い圧力等により、公正かつ円滑な議事運営が著しく損なわれる懸念があるため、事務局案として次のことを提案。

- ① 委員名簿は区分及び人数については公表し、個人名は非公開とする。
- ② 会議（傍聴）についてはすべて非公開とする。
- ③ 議事録については最終選定後の公開とし、その間は非公開とする。

(委員) 適地選定に関する他の事例では、どのようになっているか。

(事務局) 全て公開してあるところと、全く公開していないところとある。

(委員長) 有田町での状況はどうだったか。

(オガザバー) 質問に対しては返答したが、あえて行政側からの公表は行っていない。

(委員長) 反対運動などが活発な場合は非公開とすることが多いが、本件の場合には個人的には公開しても差し支えないと思う。しかし、一部に土地開発の動きが懸念されているのなら事務局案のとおり最終選定までは非公開がよいのではないか。

事務局案で承認された。

ただし、最終選定までは非公開とする理由づけを明確にしておくべきである。

(3) 適地検討について

① 全体事業計画について

全体事業計画の内容を事務局から説明

(委員) 施設整備計画は21年度から23年度に検討するということであるが、適地を絞り込んだ後で、機種や処理方式が決定され、その内容ならほかの場所が適地となるような食い違いは発生しないか。

(事務局) 基本的に3つの施設を建設することで計画しており、絞り込まれた適地が処理方式等で変わる事はないと考えている。

(委員長) エネルギー回収推進施設と最終処分場では建設適地の条件は異なるが、3施設を併設することで計画するならば、それに合う条件の絞込みとなろう。

(委員) 50haの広域エリアを5分割程度のブロックで検討していくべきではないか。

(委員) コンサルの適地調査と我々の検討委員会の関連はどうなるのか。

また、周辺住民の意向確認を予定されているが、具体的にどう確認するのか。

(事務局) 絞り込みの方法や適地調査との関連性については、次の協議事項で説明する。

住民意向の意見聴取は第3回か4回の委員会開催と併せて実施したい。

(委員) 委員が直接、住民意向を確認することは難しいと思われるので、伊万里市や事務局で意向集約を行い、委員会に報告する形がよくはないか。

● 住民の意見聴取は、事務局で行い、委員会へ報告することとする。

(委員長) 今回整備する施設の耐用年数は設定されているのか。

(事務局) 計画では15年を設定している。地域住民の理解を得られれば20年程度の稼働を考えている。

(委員長) 施設利用年数も適地選定のうえでは重要な要素である。施設整備についてはよいものを造り、将来建て替えが必要な時期がきたときには、ぜひ地域から誘致依頼がくるような立派な施設整備にしていきたい。

② 適地検討スケジュールについて

検討スケジュール（委員会の進め方等）をコンサル（日本技術開発）より説明

(委員) 候補地の適性を比較する中に戦略的環境アセスメント的手法を用いるとあるが、通常的手法と何が違うのか。

(委員長) 戦略的環境アセスメントとは、早い段階、つまり計画段階から取り組む手法であり、調査項目の必要性は理解いただけるはずなので、検討においては語句の意味に捉われる必要はない。

今後の検討委員会においては、一般の方々にも分かりやすい表現にしていきたい。

(委員) 構成市町に対し、中間報告は必要ないか。

(事務局) 検討内容の中間報告ということではなく、委員会での協議事項について首長会や副市町長会には伝えていくつもりである。

(委員) 適地の選定のうえで、広域な地形・地質の観点からも検討する必要がある。次回の委員会で佐賀県や隣接県との位置関係がどうなのか、地図を用意いただきたい。また、今後の委員会日程であるが、できれば2ヶ月先の日程まで早めに示してほしい。

(事務局) 貴重な意見として賜る。委員会の日程調整については、委員が多忙な方ばかりなので、かなり厳しい月もある。早めに調整することにするが、場合によっては(1日の中で、)午前・午後の終日会議もあり得ることも了承いただきたい。

- **事務局から提示する資料は、専門的用語を控え、分かりやすい表現での資料作成を心がける。**
- **委員会の日程は、委員長の都合を優先して構わないので、早め(2ヶ月先まで)に設定するよう調整する。**